



勇気をくれた国労加入 今こそ一丸となって組織の拡大を

9月19日、パレット柏に於いて柏駅連合分会主催による「山宮さん国労加入歓迎会」が開催された。上部機関含めて21人の仲間からひと言ずつ山宮さんに「感謝」や「激励」の言葉をかけ、結びに山宮さんから「少しずつ仲間を増やしていきたい。みなさんよろしくお願いします」と決意が述べられた。その後、場所を移して交流を深め、参加した仲間からは「元気が出た」「これからも組織拡大に奮闘する」などの声があがり、多くの組合員に勇気と希望を与えた。

この間職場では、世話役活動を通して国労加入を訴えてきたが、なかなか拡大には結びついてこなかった。しかし山宮さんの加入は、「たった一人」ではあるが「されど一人」であり、今後の組織拡大に繋がると言える。

国労東京支部は引き続き「職場の声」を大切に「国労の人はいいおじさん」で終わらせることなく、職場・機関が一体となって組織拡大に全力をあげよう。



地方大会で組織拡大表彰を受ける連合分会岸本書記長



なぜか一人だけカメラ目線の松田委員長

9・18ワタシのミライ NO NUKES & NO FOSSILS 再エネ100%と公正な社会を目指して

9月18日、代々木公園にて、原発にも化石燃料にも依存しない世界の実現を呼びかける集会が開催された。昨年まで同公園で開催されていた反原発の集会を気候変動の防止も含めた運動に拡大し、「さようなら原発1000万人アクション」など3団体の共催。主催者発表で延べ8,000人が参加した。集会後、国労の部隊は表参道を下り青山1丁目の交差点までデモ行進した。



<集会に参加して思う>

昨年も参加したが集まったメンバーはかなり少なくなっていると感じた。しかし昨年と違うな、と思ったのは若い方の参加が多かったように思う。3団体の共催で、ある意味若い方が参加しやすくなったのかな、とも思う。

岸田政権は昨年12月、安保関連3文書を多くの国民の声を無視し閣議決定した。そして今年8月には福島第1原発の「汚染水の海洋放出」、これも福島の漁業者や反対意見を聞き入れずに強行している。そもそも岸田さんというお方は、「私は話は聞きますよ」と当時は言っていたが、いったいどの誰の話を聞いているのだろう。

野党や国民の声には耳を傾けず、安倍さんや菅さんが成しえなかったことを数の力で推し進め、日本中にコロナ禍で困っている国民が多くいるにもかかわらず、国民を欺き、アメリカからは大量の武器を購入するなど、いったい彼は誰のための政治をしているのか。

こうした反動政治を終わらせるには、反自民勢力、そして多くの労働組合や市民団体の力を結集する必要があると思う。

頭がよい方ではないので虫メガネで例えてみる。子供のころ太陽光を利用して虫メガネの光を一点に集中し、花火に点火して遊んだ。大きな力を得るとはこういうことのような気がする。

講釈はもういい。時代は少しずつ変化している。労働組合も幅広く連帯して闘っていく必要がある、と思う今日この頃である。いつの世も「若い力」が中心になり社会が変革されてきた。

私も含めて年配者は過去の「財産」「栄光」を捨て、若者の意見をどんどん取り入れていくべきではないだろうか。(投稿 K・S)